

必須－４

中学校

学習のねらい ～地震の発生状況に応じた身の守り方を学ぶ～
 ○３つの地震（阪神・淡路、中越、中越沖）の特徴を知る。
 ○発生時期、場所に応じた身の守り方を考える。

知る
 考える
 行動する

【導入】

学習内容（展開例）

指導ポイント・使用資料

１．地震の発生状況に応じた身の守り方について伝える

- ①写真で見る3つの地震災害の写真をプロジェクターやモニター等で映す。阪神・淡路大震災、中越大震災、中越沖地震の写真画像を数点ずつ映し、写真ごとに地震名を紹介しつつ、「どういう特徴があるだろうか」と問いかける。
- ②阪神・淡路大震災、中越大震災、中越沖地震の3つの被災写真（地震直後）を見せながら、発生した時期や場所の違いによって危険や被害に違いがあることを説明し、身の守り方も変わってくることを伝える。
- ③地震の発生状況による被害や危険の違いと、それに応じた身の守り方について学習することを伝える。

◆資204：写真で見る3つの地震災害



２．地震の発生時期や発生場所による被害や危険の特徴、対応行動について考える

- ①ワークシートを配付し、写真を見ながら、導入で示した3つの地震が以下のとおり発生したことを説明する。

阪神・淡路大震災

「1月（冬）平日の早朝、大都市で発生」

中越大震災

「10月（秋）土曜の夕方、山間部で発生」

中越沖地震

「7月（夏）の祝日の午前、市街地で発生」

◆ワークシート04-1

※拡大コピーをして黒板に貼ってもよい。

| 地震の発生時期や場所による特徴 | | |
|-----------------|--|--|
| 地震名 | 発生時期・時間等 | ポイント |
| 阪神・淡路大震災 | <ul style="list-style-type: none"> 1995年1月17日（火） 午前5時46分 神戸などの市街地に大きな被害 | <ul style="list-style-type: none"> 冬 平日の早朝 大都市の市街地 |
| 中越大震災 | <ul style="list-style-type: none"> 2004年10月23日（土） 午後8時56分 新潟県、秋田県、山形県、岩手県などに大きな被害 | <ul style="list-style-type: none"> 秋 土曜日の夕方 山間部 |
| 中越沖地震 | <ul style="list-style-type: none"> 2007年7月16日（月・祝）※海の日 午前10時13分 新潟県の市街地に大きな被害 | <ul style="list-style-type: none"> 夏 祝日の午前 地方都市の市街地 |

【展開】

| | 学習内容（展開例） | 指導ポイント・使用資料 |
|-------|---|---|
| 【展開】 | <p>②3つの地震について、発生した時期や時間帯、発生場所等の特徴によって、どのような被害や危険性があったか考えさせ、ワークシートの裏面に記入させ、発表させる。</p> <p>③ワークシートを配付し、3つの地震で考えたことを踏まえ、発生時期や発生場所に応じて、「どのような被害や危険が考えられるか」を記入させ、発表させる。</p> <p>なお、ワークシートの全項目の記入が時間的に難しい場合は、「ワークシート04-2 教職員用資料」を参考に、いくつかの箇所は答えを例示しておき、読み合わせを行って理解を促す。</p> <p>④発生時期や発生場所の違いによる被害や危険性を踏まえて、身を守るために注意することや対応行動について考え、ワークシートに記入させ、発表させる。</p> | <p>＜指導ポイント＞</p> <p>○以下のような特徴があること。</p> <p>◆阪神・淡路大震災（大都市、冬の早朝）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・暖房器具による火災 ・早朝、停電による混乱 ・ビルなどの窓ガラスや看板等の崩落 など <p>◆中越大震災（山間部、10月の夕方）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食事準備による火災の危険 ・土砂崩れなどによる建物や道路被害 ・夜間で避難行動、災害確認が困難 など <p>◆中越沖地震（地方都市、7月祝日の午前）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・商店街の看板やアーケードの倒壊 ・住宅地の塀や建物の倒壊 ・出かけた先で被災（帰宅困難） など <p>◆ワークシート04-2</p> <p>※ワークシートの「例1」は、発生場所による違いや身の守り方をあらかじめ提示し、時間帯を中心に学習する場合の例である。</p> <p>※ワークシートの「例2」は、予想される危険をあらかじめ提示し、身の守り方を中心に学習する場合の例である。</p> |
| 【まとめ】 | <p>3. 地震についてわかったことを確認する</p> <p>①避難する際には、状況に応じた対応が必要なことを振り返り、さらに状況にかかわらず共通する大事な行動についても説明し、地震の際に身を守る行動をとるように呼びかける。</p> <p>②学習した内容について、感想や意見を発表させる。</p> | <p>＜指導ポイント＞</p> <p>（共通する行動の例）</p> <p>○家具の転倒防止や避難所の確認などの備えを行うこと。</p> <p>○災害時の連絡方法などを家族で話し合っておくこと。</p> <p>○周囲の状況に注意しながら行動すること。</p> <p>○倒れそうな建物や塀など危険な場所に近づかないこと。</p> <p>○道路や交通に注意しながら避難すること。</p> |